

# 図書館だより

Nº. 87

 8月・9月の開館予定です（変更になることもあります）

| 日                | 月                  | 火                   | 水                  | 木                | 金                | 土                             |
|------------------|--------------------|---------------------|--------------------|------------------|------------------|-------------------------------|
| 8/9<br>休館        | 10<br>休館<br>振休     | 11<br>休館<br>山の日     | 12<br>休館<br>振休     | 13<br>休館<br>盂蘭盆会 | 14<br>休館<br>盂蘭盆会 | 15<br>休館<br>盂蘭盆会              |
| 16<br>休館<br>盂蘭盆会 | 17<br>正○<br>共◎     | 18<br>正○<br>共◎      | 19<br>正○<br>共◎     | 20<br>正○<br>共◎   | 21<br>正○<br>共◎   | 22<br>休館                      |
| 23<br>休館         | 24<br>正○<br>共◎     | 25<br>正○<br>共◎      | 26<br>正○<br>共◎     | 27<br>正○<br>共◎   | 28<br>正○<br>共◎   | 29<br>休館<br>オープンスクー<br>ル 中・模試 |
| 30<br>休館         | 31<br>正○<br>共◎     | 9/1<br>正○<br>共◎     | 9/2<br>正○<br>共◎    | 9/3<br>正○<br>共◎  | 9/4<br>正○<br>共◎  | 9/5<br>休館                     |
| 9/6<br>休館        | 9/7<br>正○<br>共◎    | 9/8<br>正○<br>共◎     | 9/9<br>正○<br>共◎    | 9/10<br>正○<br>共◎ | 9/11<br>正○<br>共◎ | 9/12<br>休館<br>中・プレテスト         |
| 9/13<br>休館       | 9/14<br>正○<br>共◎   | 9/15<br>正○<br>共◎    | 9/16<br>正○<br>共◎   | 9/17<br>正○<br>共◎ | 9/18<br>正○<br>共◎ | 9/19<br>休館                    |
| 9/20<br>休館       | 9/21<br>休館<br>敬老の日 | 9/22<br>休館<br>国民の休日 | 9/23<br>休館<br>秋分の日 | 9/24<br>正○<br>共◎ | 9/25<br>正○<br>共◎ | 9/26<br>共△<br>中・説明会           |
| 9/27<br>休館       | 9/28<br>休館<br>振替休日 | 9/29<br>正○<br>共◎    | 9/30<br>正○<br>共◎   | 10/1<br>正○<br>共◎ | 10/2<br>正○<br>共◎ | 10/3<br>休館                    |

## 開館時間

正（正道館学習室） 共（共生図書館）

○7:00~17:00    ◎9:00~19:30    △8:30~17:00

## 直木賞作家「東野圭吾さん」逝去

映画化作品も多く、刊行されるたびに公共図書館では予約1位、書店では売り上げ1位になるなど読書界の牽引役であった東野さんが68歳で亡くなりました。東野作品には「読書の魔法のような力」があります。ミステリーの要素をからめながら現代の社会的問題も提示しつつ進む人間ドラマは読者を惹きつけてやまない魅力があります。

大学では理系であった東野さんが作家になったきっかけ、それは「本嫌いな若者に本を好きになってもらえる本を書きたい」という信念です。まだ、東野作品未知の人、読書が苦手な人、作品を手にとってみましょう。『白夜行』、『人魚の眠る家』、『ナミヤ雑貨店の奇蹟』あたりから、読んでみるのはいかがでしょうか。ぜひ「東野魔法」にかかって下さい。

## 1学期にたくさん読まれた本

### 『ビバロウム(箱庭) Adoと私』(Ado 執筆者・小松成美)

素顔を一切公開していない歌手 Adoさんの自伝的小説。

自分の殻を破ろうともがいていた時の思いが綴られた1冊には共感の声が。

### 『ヴィクトリアの電気棺』(田島生野・著)

樹徳卒業生のデビュー作。内容も画も良く図書館でも人気があります。

### 『探偵小石は恋しない』(森バジル・著)

発売直後から熱い口コミ。読み進めるうちに自分の中に他者や社会に対してバイヤスがあることを認識せざるを得なくなります。

### 『二人一組になってください』(木爾チレン・著)

今学期も中学生を中心に依然として人気です。表紙、書名、内容のすべてに読む人を惹きつける要素があります。一度は読んでおくべし。

### 『みんな蛍を殺したかった』(木爾チレン・著)

高校生の心の内に潜む闇と希望が描かれた作者渾身の作品。

今学期は中高生の心の痛みを描いた作品がたくさん読まれたようです。

## 話題書

### 『ファイア・ドーム』(辻村深月・著)

刊行と共に反響が大きくNHK ニュースでも取り上げられるなど、辻村ファンならずとも読書欲をかきたてられます。モチーフに使われるのはスノー・ドームの中で雪が上から舞って街を白くしていくのに反し、炎のような噂が街を駆け巡り、赤く染め上げていく様子のファイア・ドームのような街。噂で苦しむ人々です。人々の放つ言葉が生む陰と陽がテーマです。

辻村さんの作品は奥深く、人間の深層心理をあますところなく描き切り、感嘆するばかりです。

文中の「小さな世界だからこそ、その世界の中で言葉を守りたい」という一文が心に響きます。

## 注日本情報

 『斜め45度の処世術』(小川哲・著)・・・東大在学中に大学生協の棚の新書を全冊読破しようとした作家の人生哲学エッセイ。

 『本を読むのが超速い人の頭の中ってどうなってんの殺人事件』(白井智之・著)・・・大きさがA7サイズという変わり種推理小説。

 『目が』(背筋・著)・・・「近畿地方の一」の作者による11センチ×8センチとやはり小さな小説。好奇心がかきたてられます。